

令和2年度 事業計画書



社会福祉法人清章福祉会

令和2年度 事業計画書目次

社会福祉法人清章福祉会	1-13
特別養護老人ホーム清住園	14-15
地域密着型特別養護老人ホーム清住園	16-17
清住園ショートステイサービス	18-19
清住園デイサービスセンター	20-21
清住園第二デイサービスセンター	22-23
エルグラン清住園デイサービスセンター	24-25
五軒邸清住園デイサービスセンター	26-27
清住園訪問看護ステーション	28-29
居宅介護支援事業所清住園	30
居宅介護支援事業所清住園五軒邸	31
姫路市四郷・東地域包括支援センター	32-33

社会福祉法人清章福祉会

中・長期 事業計画

社会福祉法人清章福祉会
特別養護老人ホーム清住園
令和2年4月1日

理念

おもてなしの心で介護
ご利用者の立場で介護
清潔な環境
地域との共生・貢献

運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。
明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。
他の保健・医療・福祉サービスとの連携を努める。

中・長期事業計画策定のビジョン

団塊の世代の多くが後期高齢者になる2025年には年金・医療・介護の国家の財政的問題だけでなく、施設不足や人材不足が一層深刻になると予測される。そのため、地域の高齢者福祉に資する地域公益性の高い信頼される法人として活躍することを主眼に、中・長期事業計画を策定する。

1、中・長期事業計画の期間（10年間）

- 中・長期事業計画の実施は10年間とし、3年ごとに見直しを行うものとする。
ただし、関係法令の改定、介護報酬の改定があった場合はこの限りではない。
- 中・長期事業計画を実現するための具体的な事業計画は1年間とし、毎年度作成する。

2、中・長期事業計画の目標

長期目標（2029年まで）

- 地域で暮らす誰もが「清章福祉会に相談に行きたい」と思ってもらえる法人となる。
- 地域の高齢者の誰もが「清章福祉会のサービスを受けたい」と思ってもらえる法人となる。
- 福祉関係者の誰もが「清章福祉会で働きたい」と憧れをもってもらえる職場にする。

中期目標（2023年まで）

- 利用者ニーズ、地域ニーズの把握に力を入れ、地域における公益的な取組を推進し、医療と介護の連携を強化する。
- 利用者の個別ケアを推進し、顧客満足度を上げる努力をする。
- 人材確保および人材の育成のため、処遇改善やキャリアパスの整備など人事制度の抜本的見直しを積極的に行い、有能で熱意のある人材が当法人を目指すような職場環境の整備を行う。また地域における若年層・主婦層・団塊の世代等の潜在的労働力の確保に向けて取り組む。
- サービスの稼働率を高めることにより事業の安定を図り、法人の自立経営を促進する。

3、中・長期事業計画の内容

目標を達成するための重点項目として下記の5つを掲げ、基本内容を策定する。

- 1) 介護、生活支援サービスの充実
- 2) 専門性の高いケアの提供
- 3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- 5) 地域福祉の推進

<基本計画の内容>

1) 介護、生活支援サービスの充実

(1) 利用者の主体的な生活の実現

- 利用者の個別ケアを推進する。
- チームケアを向上させるための取り組みに向けて部署内で研鑽する。
- 報告・連絡・相談の徹底を図り顧客満足度を上げる努力をする。

(2) 食事サービスの充実

- 利用者に喜ばれる食事サービス（イベント食も含む）を検討する。
- 園芸療法と連携し季節感溢れる「おやつ／食事レクリエーション」を実施。

(3) サービス内容の標準化

- 各種マニュアルの見直しを3年ごとに実施し活用する。
- 各部委員会の活動を活発化し職員の意識を向上させる。

(4) 地域包括ケアシステムの推進

- 包括支援センター・居宅を中心とした地域包括ケアシステムの担い手となる。
- 在宅ケアから施設ケアへ統一したサービスの流れを法人内で構築する。
- 訪問看護ステーションを中心とした「むらの保健室」事業を実施する。

2) 専門性の高いケアの提供

(1) 認知症ケアの充実

- 認知症ケアを推進する介護職員のスキルアップを図る。
- 認知症に関する相談・調整機能の充実ため、相談業務のスキルアップを図る。

(2) 医療ケアの充実

- 看取りケアを充実させ、最期まで法人で看取ることができるようにする。
- 介護職員による喀痰吸引体制を構築するため資格取得を援助する。
- 訪問看護ステーションと連携し、介護度の高い在宅介護をサポートする。

(3) リハビリテーションの充実

- 機能訓練のシステムを強化する。
- 効果的なリハビリテーションを実施するための環境整備をする。

3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進

(1) 各事業の事業目標・指針を明確にし、健全な事業運営の徹底

- 各事業の事業目標・指針を明確にし、理事会・評議員会にて承認を得る。

- 法人組織を強化し、組織統治（ガバナンス）を確立する。
 - 健全な事業運営に努める。
- (2) リスクマネジメント・危機管理体制の強化
- リスクマネジメント体制を整備し、ローリスクを心がける。
 - 危機管理体制を整備し、安全安心の施設運営を目指す。
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- (1) 人材確保のための環境整備
- 高賃金体制を整え、職員の収入の安定を図る。
 - 職場環境の見直しによる業務の効率化を図る。
 - ライフワークバランスを踏まえた労働環境を整備し、働きやすい職場にする。
 - 職員のメンタルヘルスケアを充実させる。
 - 福利厚生を充実させる。
 - 無資格者・高齢者の雇用を推進する。
- (2) 人材育成のための環境整備
- キャリアパスを含む職員育成制度を確立する。
 - 人事制度の抜本的見直し
 - 運営の中核を担う人材及び管理職の育成
- (3) 外国人労働者の雇用を促進する。
- 外国人が働きやすい環境を整備する。
古民家を借上げ、寮として提供
介護技術のチューター制度（既存）を充実させる
外国人専門の生活指導員をつけ、日常生活のサポート体制を整える
 - 登録支援機関と円滑に関係を結び、より良い人材を確保できるようにする。
- 5) 地域福祉の推進
- (1) 地域の多様な福祉ニーズへの対応
- 潜在的な福祉ニーズを聞き取り、ニーズに合わせた福祉サービスを提供する。
 - 各部署で協力し合い、多様な福祉ニーズに法人全体で対応できるようにする。
- (2) 地域公益事業の推進
- 「知事認定地域サポート施設」となり地域公益活動事業を積極的に実施する。
 - 地域住民が主体的に取り組む活動を支援する。
- (3) 防災拠点としての機能強化
- 福祉避難所の準備と運営のシミュレーションをする。
 - 地域との協働による防災拠点として整備する。

令和2年度（2020年度） 事業計画

法人目標

- ① 専門性の向上を図り人権の尊重・尊厳の確保に努める。
- ② 目配り・気配り・心配り・声配りを実践しホスピタリティの向上に努める。
- ③ リスクマネジメント体制を強化する。
- ④ 働きやすい職場作りに努める。

事業目標（財務の視点）

- ① ショートとデイの連携を図り、ショートの稼働率を安定させる。
- ② 特養待機者の増加のため営業活動を行い、退所後の早期受け入れ態勢の準備を整える。
- ③ 最大限の加算取得のため全職員で再チェックを行い、人員配置などの工夫をする。
- ④ 毎日のフィジカルアセスメントを徹底し、利用者の状態変化の早期発見に努める。
- ⑤ 各部署で毎月の収支報告を確認し稼働率の向上とコスト削減に努める。
- ⑥ 社会の変動に対応できる法人にするため、計画的に事業の多角経営化を推進する。

基本方針

- ① 在宅・医療・障害者福祉サービスへの参入を強化する。
- ② 姫路市街地事業の推進と拡大を図る。
- ③ 利用者にとっての価値（利用価値）・社会や地域にとっての価値（社会的価値）・職員からみた価値（所属価値）の3つの価値を念頭に、バランスよく最大化する。

令和2年度（2020年度）「地域における公益的な取り組み」実施計画

1、地域高齢者への介護予防支援

- ・「いきいき百歳体操」の会場として多目的ホールを提供（週2回、地域高齢者20名程度）
- ・清住園訪問看護ステーションの看護師と自治会が協力し合い「むらの保健室」を開催

2、地域住民との防災訓練および発災時の福祉避難所の準備

- ・地域住民参加の防災訓練を企画
姫路東消防署飾東出張所・地域住民の参加を呼びかけ合同で防災訓練を実施
消防署員による防災研修会を開催
清住自治会役員と清住園防災委員会による発災時の協力体制検討会を開催
- ・福祉避難所設立準備（清住園防災委員会）
備蓄食料の確保
発災時の給食提供方法の確認
発災時の連絡体制の整備

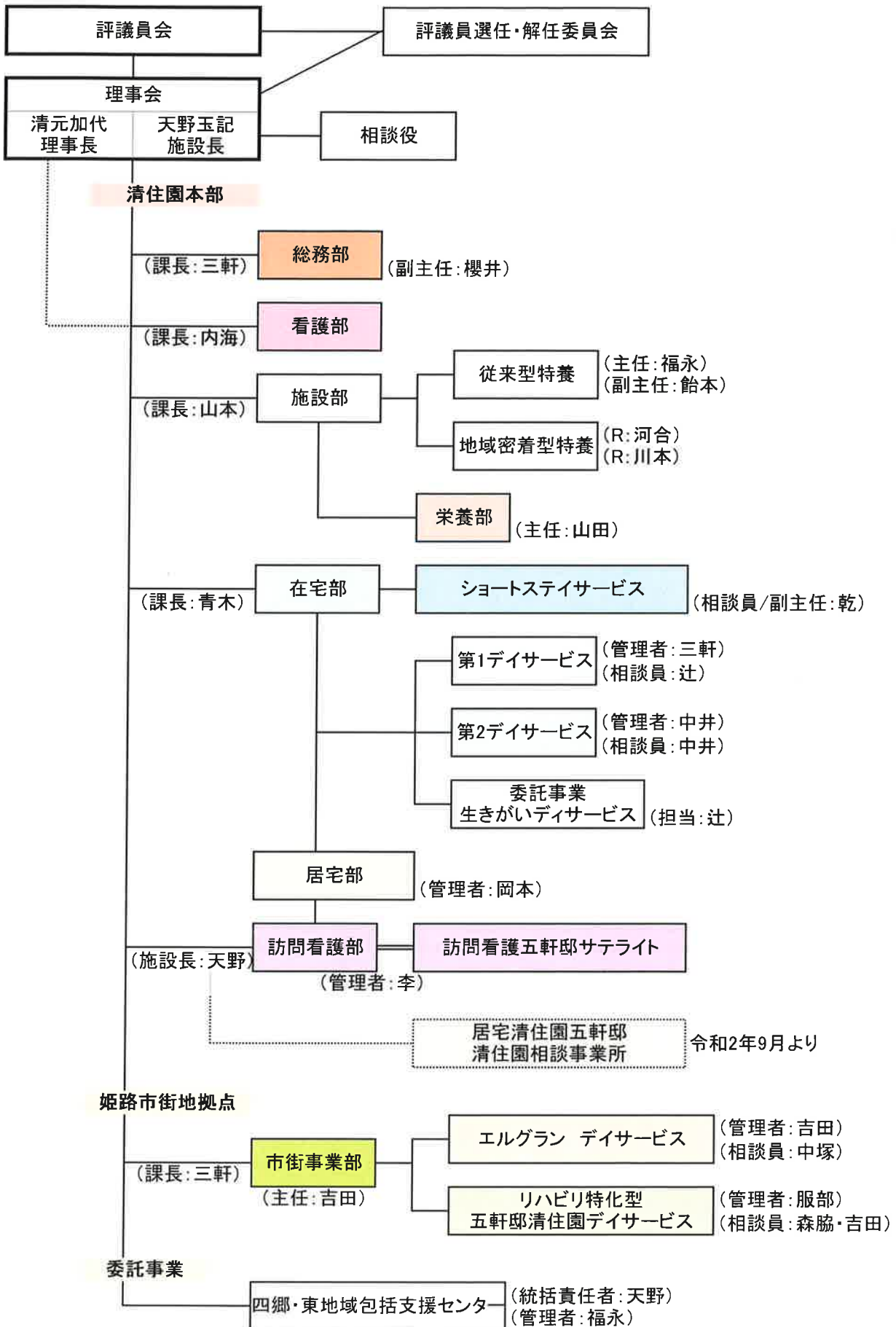
3、地域の人材育成および啓蒙活動

- ・介護実習生の受け入れ
- ・トライやるウィークの受け入れ

4、地域行事への参加および地域住民との交流

- ・清住盆踊り（令和2年8月14日）：清住自治会主催
特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
合同花火大会を清住園家族会と清住自治会で共催
- ・清住園ふれあい祭り：法人主催
地域自治会と共に地域住民の祭りとして開催
みどり保育園・谷内小学校・城山中学校の生徒によるボランティア参加
谷内公民館活動グループのボランティア参加
谷内消防団による駐車場誘導および模擬店運営
自治会役員を来賓として招待
参加者全員対象の抽選会を開催
- ・清住えびす祭りに協力（令和3年1月10日）：清住自治会主催
祭りの協賛金の募集に協力をする
えびす祭りに参加
- ・とんど焼きに参加（令和3年1月吉日）：清住自治会主催
特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
- ・小学校・中学校の生徒との交流会
- ・施設内行事の広報および参加を呼び掛ける

2020年度 清章福祉会組織図



<会議>

会議名	内容	頻度	参加者
職員会議	全職員対象研修の実施	月 1 回	全職員
リーダー会議	各部署予定・収支等の議題検討	月 1 回	各部署リーダー
幹部会議	運営に関する議題検討	月 1 回	管理職
従来型 ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1 回	施設部職員
ユニット ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1 回	施設部職員
デイ会議	予定・議題検討	月 1 回	在宅部職員
第二デイ会議	予定・議題検討	月 1 回	在宅部職員
エルグランデイ会議	予定・議題検討	月 1 回	エルグラン職員
居宅会議	情報伝達・勉強会	週 1 回	居宅部職員
総務部会議	情報共有・検討・勉強会	月 1 回	総務部職員

<委員会>

委員会名	内容	頻度
身体拘束適正化検討委員会	職員研修、アンケート集計、身体拘束者の記録点検、勉強会	2 カ月に 1 回
褥瘡対策委員会	職員研修、事例対応策、発生時の現状と処置の周知	月 1 回
看取り介護委員会	職員研修、活動報告、看取り開始時の準備、カンファレンスの実施、意見交換	3 カ月に 1 回
栄養委員会 (施設・在宅)	献立検討、食事レク、行事企画、カンファレンス、意見集約	月 1 回
危機管理委員会 (施設・在宅)	何でも報告書、ヒヤリハットの集計・分析、事例検討、事故発生場所の把握・対応	月 1 回
感染症対策委員会	職員研修、感染対策マニュアルの改訂	3 カ月に 1 回 以上
衛生委員会	労働環境の整備、安全パトロール、職員健康管理、労働災害防止対策	月 1 回
防災委員会	防災機器の点検、避難訓練、緊急連絡網の整備	随時
広報委員会	広報ほほえみ作成、ホームページの管理、ブログ更新	3 カ月に 1 回

研修委員会	年間研修計画の立案、職員研修講座の運営・管理、職員会議の研修企画、研修アンケートの集計・分析	月 1 回
新卒採用委員会	合同企業説明会の企画・参加、施設内説明会の企画・参加、学校挨拶まわり、新卒ナビサイト管理、採用ツールの見直し	月 1 回
サービス向上委員会	ホスピタリティの向上、接遇、業務改善、アンケート集計	月 1 回
事故・苦情対策委員会	事故・苦情内容に関する報告・対策	年 1 回
入所判定委員会	入所の検討・決定	月 1 回

<研修>

研修講座	対象者・内容	頻度
新人研修	新卒採用者・(下半期)中途採用者を対象	4 月
中途採用者研修	(上半期)中途採用者を対象	10 月
接遇研修	全職員	年 4 回
医療研修	全職員	年 3 回
栄養管理研修	全職員	年 3 回
介護技術研修	全職員	年 3 回
コミュニケーションスキル向上研修	全職員	年 2 回
アンガーマネジメント研修	全職員	年 2 回
ストレスマネジメント研修	全職員	年 2 回
コーチング技術研修	全職員	年 2 回
パソコンスキル研修	全職員	年 2 回
認知症研修 (施設)	施設部 (2F) 所属の職員	年 3 回
認知症研修 (在宅)	在宅部 (1F) 所属の職員	年 2 回
ハラスメント研修 (一般)	グレード 4 までの職員	年 3 回
ハラスメント研修 (管理)	管理者・部署長・管理職	年 2 回
リーダーシップ研修	管理者・部署長・管理職	年 2 回
雇用管理研修	管理者・部署長・管理職	年 2 回
指導監査対策研修	管理者・部署長・管理職	年 2 回

総務部

1. 基本方針

地域に信頼される法人として活躍するために関係法令を遵守し、積極的に情報公開を行い、働きがい・働きやすい職場作りを推進し、情報発信をしていく。各事業との連携を密にし、各種管理業務の体制強化に努める。

2. 令和2年度目標

< 部署目標 >

- ・法人内外の情報収集・伝達・調整・発信
- ・コストの見える化
- ・各事業の業務支援

< 経営目標 >

- ・各事業の情報収集・分析により経営効率を高める
- ・働き方改革の推進による職場環境の整備

< 人材育成 >

- ・業務の見える化、業務分担の見直しにより効率化を進める
- ・外部研修及び部署内研修により、職務に関する知識や事務処理能力の習得・向上に努める

< 地域福祉活動 >

- ・地域の方が施設設備を気軽に使用できるように広報活動を行う
- ・防災対策を強化し、非常時の福祉避難所拠点であることを周知していく

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

会計ソフト入替5台(5年リース)	月額	25,300円
加湿器		40,000円
オフィス用椅子		21,000円
全館wi-fi設置費		510,000円
施設内クロス張替工事		610,000円
倉庫改修工事		600,000円
自家発電装置取替工事		7,040,000円
消火器取替9本		95,700円

栄養部

1. 基本方針

利用者のニーズを把握し、日々利用者の情報を集めながら他職種と共に、栄養状態の維持・改善に向けて取り組む。また、入所者一人ひとりのアセスメントを行い、栄養ケアマネジメントを作成。地域の環境を生かした地産地消を目指し、利用者が大切にしてくられた「郷土食」「行事食」を一緒に作り、食する事で懐かしさと感動を与えられるように努める

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・日々の利用者の変化に対応した栄養管理を行う
- ・他部署との連携を強化し、信頼関係を築く

<経営目標>

- ・円滑な入所になるように努め、安定した介護報酬の確保を図る
- ・病院との連携を図り、円滑な退院を目指す

<人材育成>

- ・食を通じて栄養管理、コミュニケーション、食知識を伝えていく

<地域福祉活動>

- ・福祉避難所としての備蓄食料の管理

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

グリストラップ清掃 一式	46,000 円
フードプロセッサ	90,000 円

2020年度 食事・おやつイベント 年間計画

月	季節のイベント	畑の収穫物	形態	特養	ユニット	第1デイ	第2デイ	
4月	花見	きぬさや つくし	食事	花見御膳(松花堂)		花見弁当		
			おやつ/レク	つくし・きぬさやの収穫と調理				
5月	父母の会	えんどう	ふれあい行事	父母の日 ケーキ				
			イベント				外食	松花堂弁当
			おやつ/レク	グリーンピース採りと豆ごはん				
				リクエストメニュー				
6月	春の収穫	玉ねぎ じゃが芋	食事レク	焼きそば実演	たこ焼き作り	焼きそば作り	焼きそば実演	
			おやつ/レク	フルーチェ作り	リクエストメニュー			
7月	涼を求めて そうめん流し	なす トマト きゅうり	食事	七夕料理(7/7)				
				そうめん流し				
							きゅうりの漬物作り	
				土用の丑(7/27)				
8月	夏祭り ビアガーデン そうめん流し	スイカ	おやつ/レク	じゃが芋を使ったレク				
			食事	ビアガーデン	夏祭り			
9月	敬老の日 実演イベント	栗 シソの葉	おやつ/レク	プリンのおトッピング			リクエストメニュー	
			食事	敬老の日				
10月	鉄板料理	さつまいも	食事	敬老の日			敬老の日	
				祝い膳(敬老の日)				
11月	冬の風物 干し柿作り ふれあい祭	柿 かぼちゃ 白菜	食事	お好み焼き作りと実演				
			おやつ/レク	リクエストメニュー	リクエストメニュー	紅葉ドライブ		
12月	クリスマス 忘年会	獅子柚子 大根 白菜	食事レク	クリスマス献立(12/25)				
				年越しそば(12/31)				
				ケーキバイキング			クリスマスケーキ作り	
			食事レク	寄せ鍋				
1月	正月 新年会	春菊 大根	おやつ/レク	獅子柚子の甘煮				
				冬至の柚子風呂・かぼちゃ料理(12/22)				
2月	節分	菜の花 かぶら	食事	おせち料理(1/1)				
				お祝いちらし寿司(1/4)				
				七草(1/7)				
			おやつ/レク	おしるこ	おでん	おでん	白玉おしるこ作り	
3月	桃の節句	人参	食事	節分献立(2/3)				
			おやつ/レク	リクエストメニュー	リクエストメニュー	菜の花の収穫と調理		
3月	桃の節句	人参	食事	海鮮ちらし				
				ケーキバイキング	リクエストメニュー			

実演	委託業者企画		部署企画
	栄養部企画		菜園の野菜を使って

療法部

1. 基本方針

利用者の全体像を把握して、生活機能の維持・向上をめざし各種療法を計画し、提供する。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・利用者及び家族から療法に対する意向や希望等の情報を収集し、その実現に向けて各種療法を計画・実施する。
- ・円滑で効率的に活動が行えるように他部署との情報交換や連携を図る。

<経営目標>

- ・デイサービス利用者において、理学療法・音楽療法・園芸療法・物作り等の療法に楽しんで参加することがデイサービスを利用する目的の一つになるように各種療法の内容を充実させる。

利用者の状態に合わせて療法参加者の見直しを随時行い、加算算定者を増やす。

加算算定できるように、可能な限り振替や代替実施を行う。

- ・ショートステイ利用者において、音楽療法・園芸療法および機能訓練に参加することにより、施設生活の中で楽しみながらリハビリができるようにし、利用回数の増加につなげる。
- ・施設利用者において、音楽療法・園芸療法および機能訓練をすることで、認知症予防やADL低下を防ぐ。

<人材育成>

- ・職員全員が身体機能の維持・向上、介護予防の視点を持って利用者に介護・支援が行えるようになる。

<地域福祉活動>

- ・地域の方々や訪問者などに対して療法部の活動内容を紹介する。

園芸療法 活動・栽培計画表

月	農園・ガーデン	屋内
4	種まき、苗作り 畑の畝作り	苗の管理、水やり お花見、外気浴、日光浴
5	野菜苗の定植（トマト、キュウリ、ナス、シシトウ、オクラ、枝豆など）、いちごの収穫	植え付け、収穫、試食
6	追肥等の手入れ 収穫 花壇：花苗の定植	収穫した野菜は利用者様と一緒に調理して食べる。
7	手入れ 収穫	収穫した花を生け花にして食堂やダイニングに飾る。
8	手入れ 収穫（漬物、サラダ） 冬花の種まき （パンジー、葉牡丹など）	ドライフラワー、押し花作り
9	冬野菜の種まき （大根、白菜など）	
10	夏野菜の片付け 冬野菜の植え付け準備	外気浴・散歩
11	種まき（エンドウ、菜の花、ホウレンソウ、カブなど） 干し柿作り	収穫した野菜でお菓子作り
12	収穫（大根、白菜など） 花壇冬花定植 （パンジー葉牡丹、チューリップなど）	お鍋をして頂く
1	収穫（大根、白菜など）	季節の作品作り（干支飾り）
2	追肥等の手入れ （いちご、エンドウ、ホウレンソウなど）	季節の作品作り（節分鬼飾り）
3	ジャガイモ植え付け	季節の作品作り（雛飾り作り）

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める
- ・報告・連絡・相談を徹底し、家族や職員間のコミュニケーションを密にする
- ・労働環境を整え、働きやすい職場環境作りに努める

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）

<経営目標>

- ・円滑な入所に努めることにより安定した介護報酬の確保を図る
- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、他職種協働で日常の健康管理を徹底する
- ・入院が短期間となるように協力病院と連携し、年間平均稼働率96%を目指す

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る
- ・職員の教育システムを見直し、統一した指導ができるようにマニュアルを作成する

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生等の受入を積極的に行う
- ・地域行事に積極的に参加する
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事	行事食
4月	花見	花見御膳
5月	父母の会、家族会総会	ケーキ
6月	外出（喫茶）	焼きそば実演
7月	そうめん流し	七夕料理
8月	夏祭り	夏祭り料理
9月	敬老会	祝い膳
10月	外出（コスモス鑑賞）	お好み焼き実演
11月	ふれあい祭	さつまいも料理
12月	クリスマス会	クリスマス料理
1月	おせち、正月行事	おせち料理
2月	節分（豆まき）	節分料理
3月	外出（喫茶）	海鮮ちらし
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸療法	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

外国人用寮改築工事一式 3,000,000 円

地域密着型 特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の一人一人の生活習慣や好みを尊重し、利用者の生活に沿ったケアの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

○施設

- ・入居者一人ひとりに合わせたケアと余暇活動の充実を図る。
- ・報告、連絡、相談を徹底し職員間の情報を共有する。
- ・労働環境を整え、働きやすい職場作りに努める。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、他職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように努めることにより年間平均稼働率 **97%**を目指す。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の習得を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生等の受入を積極的に行う。
- ・地域行事に積極的に参加する。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事	行事食
4月	花見	花見御膳
5月	父母の会 家族会総会	ケーキ
6月	外出	たこ焼き作り
7月	七夕	七夕料理
8月	夏祭り	夏祭り料理
9月	敬老会	祝い膳（敬老の日）
10月	外出（各地域秋祭り コスモス）	お好み焼き作り
11月	ふれあい祭	外食
12月	クリスマス会 忘年会	クリスマス献立・鍋
1月	正月行事	おせち料理
2月	節分(豆まき)	節分献立
3月	外出	海鮮ちらし
備考	ボランティア行事（不定期） 外出（喫茶 買い物） 誕生日会	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園ショートステイサービス

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和2年度目標

< 部署目標 >

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推進する
- ・報告・連絡・相談を徹底し、家族や職員間のコミュニケーションを密にする
- ・労働環境を整え、働きやすい職場環境作りに努める

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る

< 経営目標 >

- ・安定した利用者の確保と年間平均稼働率（日中）90%を目指す
- ・新規利用者の受け入れ体制の構築と各部署との連携
- ・胃瘻等の重度利用者の受け入れを行い利益率の向上を図る

< 人材育成 >

- ・相談員の育成の為、チューター制度を活用することでスキルアップを目指す
- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る
- ・職員が自発的に考え行動に移せる環境を整える

< 地域福祉活動 >

- ・地域行事に参加し、相談しやすい環境を整える

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事（従来型に準ずる）	行事食（従来型に準ずる）
4月	花見	
5月	父母の会、家族会総会	
6月	外出（喫茶）	
7月	そうめん流し	
8月	夏祭り	
9月	敬老会、夕涼み会	
10月	外出（コスモス鑑賞）	
11月	ふれあい祭	
12月	クリスマス会	
1月	おせち、正月行事	
2月	節分（豆まき）	
3月	外出（喫茶）	
備考	ボランティア行事（不定期） おやつレク（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸療法	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

従来型に準ずる

清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅の虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携を図りつつ、現行サービスを維持し在宅支援を念頭に介護予防を取り組んだ質の高いサービスを提供していくよう努める。
- ・外部の事業所等を誘致し、積極的な社会的活動を行い生活機能の向上を図る。
- ・アクティビティサービスの充足を図り、心身共に充実できるサービスを提供することで、利用者満足度と介護予防の両立に努める。

<経営目標>

- ・営業活動を積極的に行い新規利用者の獲得を図りつつ、第二・エルグランへの移行にも柔軟に対応しながら、売上の向上に繋げる。
- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を構築する。受け入れ体制を円滑に行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。
- ・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間	
基本事業	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～15:00	
予防通所介護事業	入浴	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	アクティビティ	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	13:00～15:00
	給食	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護事業	入浴	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食(栄養ケア)	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用者定員：40名

○稼働率

- ・平均30名以上 月平均 75%稼働率

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域（加西市、神吉町、志方町等を重点に置く）の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所への郵送を行う。

・定期的に当事業所の営業用の広報新聞等を更新し各事業所への営業訪問を行う。

<人材育成>

○相談員

・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。

・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解等を図っていく。

○看護・介護職員

・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。

・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。

・地域住民との交流を図る為、移動販売などの企画をし施設の開放を行う。

3. 年間行事・活動予定

月	年間行事	行事食
4月	花見会、花見喫茶、花見ドライブ	花見弁当
5月	新緑ドライブ	どら焼き
6月	紫陽花鑑賞ドライブ、トライやるウィーク	焼きそば
7月	谷内小交流会（七夕）	七夕料理、そうめん流し
8月	夏祭り、ぶどう狩り（お盆）	うなぎ（土用の丑）
9月	敬老会	祝い膳
10月	コスモス鑑賞ドライブ、芋ほり	お好み焼き
11月	紅葉ドライブ、干し柿	焼き餃子
12月	クリスマス会、忘年会	クリスマス料理、鍋
1月	初詣、絵馬作り、新年会	新年会（鍋、おでん）
2月	節分、豆まき、梅鑑賞ドライブ	恵方巻き
3月	雛祭り、菜の花鑑賞ドライブ	ちらし寿司
備考	買い物ツアー（随時）※12月～2月は休止 外食ツアー（春～秋）、喫茶ツアー（秋） 衣料販売（随時）、ハーバリウム教室 地域ボランティア（随時）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

フリーラック（多目的棚）4個	58,400円
壁掛けホワイトボード	11,300円
アネロイド血圧計	6,600円

清住園第二デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・利用者の重度化に対応する為に介護力の向上を図り、質の高い介護サービスが提供できるよう努め、安定した利用者数及び稼働率での営業を行っていく。
- ・個別ニーズを把握し、利用者一人ひとりに合ったプログラムを創造・実践し、在宅での生活機能の維持向上を図る。

<経営目標>

- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を築き、各種プログラム作りや個別機能訓練の実施と受け入れ体制を円滑に執り行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。
- ・積極的な第1デイよりの利用者移行、ショートステイサービスとの併用利用、サ高住の利用者の受け入れを行う
- ・重度利用者、医療看護が必要な利用者(在宅酸素、ストマ、胃瘻等…)を可能な限り受入れ、介護職・看護職が連携して適切な対応が行えるような組織作りを行う。

・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間	
基本事業	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00	
予防通所 介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	アクティビティ	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	13:00～16:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護 事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食(栄養ケア)	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：大規模型(I) (月延べ人数が751～900人まで)

利用者定員：40名

○稼働率

- ・1日平均 33名以上 月平均 85%稼働率

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域(加西市、神吉町、志方町等を重点に置く)の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所へ郵送を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。
- ・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解などを図っていく。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・積極的に独居利用者や買い物難民利用者へ食材・生活用品配達サービスの支援を行う。

3. 年間行事・活動予定

月	年間行事	行事食
4月	花見会(園庭)、花見喫茶、花見ドライブ	花見弁当
5月	セントラルパーク外出、新緑散策	行楽弁当
6月	紫陽花鑑賞、遠出外出	おはぎ
7月	谷内小学校交流会	うなぎ(土用の丑)
8月	夏祭り、そうめん流し	そうめん流し
9月	敬老会、遠出外出	敬老祝い膳、おはぎ
10月	セントラルパーク外出、コスモス鑑賞	スイートポテト(さつまい)
11月	紅葉ドライブ、遠出外出	干し柿
12月	クリスマス会	クリスマスケーキ
1月	初詣、十日ゑびす	白玉ぜんざい
2月	節分、豆まき、梅見ドライブ	恵方巻き、バレンタイン
3月	谷内小学校交流会、遠出外出	おはぎ
備考	マジックショー(毎月) おやつレク(毎月) 創作レク(毎月) 個別クラブ(随時)…カラオケ、クラフト、書道・写経、水彩画、囲碁、将棋 オセロ等 地域ボランティア(随時)	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

機械浴 シャワーチェアカバー一式

78,400円

エルグラン清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスの提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤独感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和2年度目標

< 部署目標 >

- 一人一人の利用者様の意思を尊重し、「利用者本位」の実現を目指す。
- 職員間、他職種との連携とチームワークの強化を図る。

< 経営目標 >

・ 運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00
予防通所 介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護 事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食(栄養ケア)	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人まで）

利用定員 30名

・ 稼働率

- 1日平均 22名以上 月平均 73%の稼働率

・ 営業活動

- 利用者の近況状態や施設の取り組みなどを知ってもらうための訪問活動を定期的に行う。
- 紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り、信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

看護・介護職員

- 内部研修を計画的に行い、「人が人を支援する」とはどのようなことなのかを考えられる職員の育成を行う。
- 感染症対策や防災対策など非常時でも慌てず対応できる職員の育成を図る。

<地域福祉活動>

- ボランティアの受け入れや訪問販売業者などの社会資源の選定や活用を積極的に行う。
- 街の福祉相談拠点となれるよう地域の会合に積極的に参加し、地域との結びつきを強化する。

3. 年間行事・活動予定

月	年間行事	行事食
4月	花見・喫茶ツアー・誕生日会	花見弁当
5月	新緑散策・工場見学ツアー・誕生日会	駄菓子パーティ
6月	アジサイ鑑賞・喫茶ツアー・誕生日会	駄菓子パーティ
7月	七夕・季節飾り作成・誕生日会	流しそうめん
8月	向日葵鑑賞・工場見学ツアー・誕生日会	流しそうめん
9月	敬老会・誕生日会	
10月	コスモス鑑賞・芋ほり・誕生日会	行楽弁当
11月	セントラルパーク外出・誕生日会	
12月	クリスマス会・誕生日会・季節飾り作り	ケーキ作り
1月	初詣・誕生日会	
2月	梅の花鑑賞・節分豆まき・誕生日会	
3月	ひな祭り・喫茶ツアー・誕生日会	
備考	毎月の誕生日会には手作りおやつを提供 訪問美容はおおむね1カ月に1回程度実施予定 機能訓練を兼ねた外出は毎月適宜行う	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

地域密着型リハビリ特化型短時間デイサービス

五軒邸清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

要支援・要介護高齢者、在宅虚弱高齢者、認知症高齢者に対して通所により、入浴および一人ひとりにあつたりハビリを提供し、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- 一人ひとりのニーズをアセスメントし、個人に合わせたリハビリメニューを提供する
- 近隣の地域包括支援センターや居宅を訪問し、デイサービスの認知度を上げる努力をし、稼働率・売り上げの向上・安定を図る。
- アットホームな雰囲気作りを心がけ、職員間の連携・統一を図る。

<経営目標>

・運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		198	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
予防通所 介護事業	入浴	198	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
	個別機能訓練	198	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
通所 介護事業	入浴	198	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45
	個別機能訓練	198	火・水・木・金 (除:日・祝・年末年始 12/31~1/3)	9:15~12:30 13:30~16:45

運営規模：地域密着型

利用定員 9名×2回

・稼働率

- 半日平均 6.5名以上 月平均 72%の稼働率

・営業活動

- デイサービスの認知度を上げるため近隣の地域包括支援センターや居宅を定期的に訪問。
- 紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

相談員・介護職員

- 内部研修を計画的に行い、「人が人を支援する」とはどういうことなのかを考えられる職員の育成を行う。

<地域福祉活動>

- 街の福祉相談拠点となれるよう地域の運営推進会議メンバーの方々との結びつきを強化する。

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園訪問看護ステーション

1. 運営方針

- ・重症化予防及びリスク管理のもと、きめ細やかな対応と質の高い看護を提供し、在宅療養が長く継続できるようにする。
- ・保健・医療・福祉と連携を密にして、利用者の生活に必要なネットワークサービスが提供できるよう支援する。
- ・地域の関連機関との連携を密にし、選ばれる訪問看護ステーションを目指す。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・在宅医療の担い手としての自覚を持ち、専門的な知識、技術の習得に努め関連機関との連携のもと継続的な看護を実践する。
- ・人の潜在能力や自律に働きかけ「あなたたちに頼んでよかった。」と言っていただけの看護を実践する。
- ・イキイキと楽しく活動できる。

<経営目標>

○運営日数

- ・営業日：月～金曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)
- ・365日24時間緊急対応

○訪問回数目標

- ・利用者数の定着
看護師は一人につき1日4～5件
- ・一ヶ月利用目標回数240件

<人材育成>

- ・得意分野の資質向上及び最新看護を習得するため、各種研修に参加する
(一人一研修以上参加)
リハビリ、認知症、難病、精神、ターミナル、口腔ケア等研修会(随時)
伝達研修(随時)
- ・ステーション勉強会(3回/年) 内容は事例検討会とする

<地域福祉活動>

- ・保健室活動
様々な病気や心の悩み、子育てと介護についての相談窓口としての機能を果たす

3. 年間活動計画

月	計画
4月	
5月	むらの保健室（谷内公民館）、その他（要望のあった地域）
6月	
7月	
8月	
9月	むらの保健室（谷内公民館）、その他（要望のあった地域）
10月	
11月	
12月	くらしの保健室（サテライト）（仮）
1月	むらの保健室（谷内公民館）、その他（要望のあった地域）
2月	
3月	むらの保健室（谷内公民館）、その他（要望のあった地域）
備考	保健医療福祉挨拶回り 随時（広報活動） 他訪問看護ステーションとの合同勉強会 随時 中播磨訪問看護ステーション連絡会（4回/年）

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

聴診器	アネロイド血圧計	酸素飽和度測定器	50,000 円
衛生材料	(感染予防・抗癌剤等暴露予防ディスプレイ用品・医療処置時使用物品等)		35,000 円
	心電図記憶装置（付属品含む）		63,000 円
	事務用品（ファイル ネームテープ インデックス等）		15,000 円
ステーション勉強会 合同勉強会 保健室活動費	(会場費・講師代・貼るホワイトボード・ホワイトボードマーカー等)		20,000 円
	参考図書		20,000 円
	計		203,000 円

居宅介護支援事業所清住園

1. 運営方針

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態や悪化の防止のため、総合的な支援の提供に努めます。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・法令遵守にむけて、全員で意識を持ち徹底できるシステムを構築する
- ・報告、相談、連絡の意味を理解して実践する

<経営目標>

○運営日数

営業日：293日 月～土曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)

○稼働率

介護支援専門員3名に対して

担当可能件数：要介護105件・要支援24件

目標稼働率：92.0%(介護給付のみ)

目標件数： 要介護97件・要支援20件

<人材育成>

- ・内部の勉強会を持ち回りで担当し、専門分野の理解力を深め、指導的役割を担う
- ・法令に関する資料(実地指導結果・集団指導資料)を朝礼で読み込む

<資質向上>

- ・他事業所との合同事例検討会の定期開催
- ・外部研修会へ参加し、学びの中の気づきを言語化し再確認すると共に行動変容に繋げる

<地域福祉活動>

- ・地域包括支援センター、地域関係者からの困難事例の受け入れ

居宅介護支援事業所清住園五軒邸

1. 運営方針

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態や悪化の防止のため、総合的な支援の提供に努める。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・エルグラン清住園デイサービスセンターや清住園訪問看護ステーションなど他部署と綿密な連携を図りながら利用者の総合的な支援を行う
- ・各病院の地域連携室と密接に連携してスムーズな退院のサポートができる

<経営目標>

○運営日数： 都合により令和2年2月14日～休止

令和2年9月より再開予定

月～金曜日（国民の祝日、12月29日～1月3日は除く）

○稼働率 介護支援専門員1名

目標稼働率：95%

目標件数： 要介護24件 要支援18件

<資質向上>

- ・面接技術の向上を目的とし、本体の居宅と勉強会を定期的に開催する
- ・外部研修会へ参加し、学びの中の気づきを言語化し再確認すると共に行動変容に繋げる

<人材育成>

- ・個人目標・計画・活動状況が見える化し、習慣とすることと同時にモチベーションを維持しながら継続して取り組める環境を目指す
- ・業務マニュアル作り、業務改善を計画的に実施する

<地域福祉活動>

- ・地域包括支援センター、地域関係者からの困難事例を受け入れる

姫路市四郷・東地域包括支援センター

1. 基本方針

- ・人が健康であり続け自分自身で生活を維持できること、また、支援が必要となってもその人らしい生活を継続できることは、尊厳ある生涯を考えるうえで大切と考える。
- ・地域住民の自主性や主体性にに基づき、特性に応じて「住まい」・「医療」・「介護」・「予防」・「生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築していくための中核的な存在として必要とされる地域包括支援センターとなれるよう努めていきたい。
- ・民間に委託された公益事業であることを踏まえて活動する。
- ・事業計画の評価を行ない、質を高めるための努力を惜しまない。

2. 令和2年度目標

<部署目標>

- ・「地域包括ケアシステム」の構築に努め、地域の関係者との目標等の共有を図っていく。
- ・総合相談をワンストップ窓口にできるよう努め、資源を統合していく。
- ・在宅生活をサポートできる専門的知識の研鑽とネットワーク作りになお一層努める。

<経営目標>

- ・自前プランをできるだけ持つようにし、プランナーの担当を制限枠いっぱいとする。
- ・地域包括支援センターとしての経営自立を目指す。

<人材育成>

- ・外部研修にも積極的に参加し、関連した技術や制度についての最新情報を学び、センター内職員と共有し研鑽する。
- ・センター内の勉強会及びカンファレンスでの年間研修計画に基づき、相談業務のスキルアップおよび地域の啓蒙活動等を実施できるプレゼンテーション技術のより一層の向上を図る。
- ・パソコン操作技術および業務記録の技術をより高める。

<地域福祉活動>

- ・地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動などの社会資源を十分活用できるよう継続的な支援をし、体制を整えていく。
- ・総合相談支援業務・権利擁護業務・包括的継続的ケアマネジメント支援業務など、姫路市から委託された地域包括支援センター業務を着実に遂行できるように努める。
- ・介護予防および健康の維持・増進に向けて取り組み、地域で認知症の理解を深めるための啓蒙活動を行い、高齢者にやさしい地域づくりを進めていく。
- ・認知症の程度に応じた医療や介護の情報提供を行い、家族や介護者への支援を行う。
- ・多様な参加の場を支援し、地域住民との連携を定着させる。

- ・兵庫県老人福祉事業協会からの委託事業として介護技術講習会を3回開催予定

3. 年間活動計画

月	計画
4月	各機関・新役員への挨拶 介護予防教室の計画 小中学校への挨拶 機関紙の発行 定例会への参加（民生委員）
5月	認知症予防教室開催 圏域連絡会議 東ブロック研修
6月	医療機関への挨拶 介護者のつどい
7月	認知症サポーター養成講座 東ブロック研修 機関紙発行 介護技術講習会(1)
8月	機関誌発行 圏域連絡会議 事業所挨拶（1）
9月	東ブロック研修 金融機関・事業所挨拶 介護技術講習会(2)
10月	ケアマネカフェ開催 地域相談会（金融機関等）機関紙発行
11月	機関誌発行 介護者のつどい 新民生委員さんへの挨拶（定例への参加） 介護技術講習会(3)
12月	介護予防教室 事業所挨拶（2）
1月	各機関新年挨拶 新年度活動計画立案 機関紙発行
2月	東ブロック研修 R2年度評価
3月	役員交代等の情報収集等
備考	随時、いき百立ち上げ支援 認知症サポーター養成講座等

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

自転車購入（2台）	約30,000円
電動自転車 1台	100,000円